

施策分析シート（平成26年度）

No1

施策名	伝統的文化の保存と継承		施策No	09-03		部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課	
関連部課名								
行政評価事業体系	分野	文化創造都市						
	政策	09 伝統文化の継承と都市間交流の推進						
目的	区民に伝える有形・無形の文化財を区民全体の財産として保存し、地域における伝統文化を継承していくとともに、郷土の歴史や地域について学ぶ機会を提供し、荒川区の伝統文化の発展に寄与する。							
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		23年度	24年度	25年度				
	地域への愛着度			2.93	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？			
標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明	
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(28年度)		
	荒川ふるさと文化館利用者数	23,702	18,709	19,164	24,000	26,000	展示室観覧者 + 郷土学習室利用者	
	荒川ふるさと文化館企画展示室稼働率(%)	57	55	76	78	80	企画展示室開館日数 + 展示・撤収作業日数 / 文化館開館日数	
	伝統技術展入場者数	14,000	15,000	13,200	14,700	17,000		
	文化財登録件数 総数	255	257	258	260	267		
	文化財登録件数 年	4	2	4	2	4		
現状と課題（指標分析）	<p>○江戸時代から引き継がれてきた区内の伝統工芸技術を保存・継承するとともに、区民に広く紹介するため「あらかわの伝統技術展」を毎年開催している。</p> <p>区の歴史や文化等について、児童・生徒をはじめ、多くの区民に正しく伝え、理解を深めるとともに、郷土に対する誇りと愛着を持ってもらえるよう、企画展示等の事業の充実を図る必要がある。</p>							
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>地域の郷土資料館ならではの特性を生かした企画展を開催し、区の魅力を発信する。</p> <p>○伝統工芸技術に子ども達が触れる事業を充実させるとともに、区内外への普及・啓発を図る。文化財保護推進員に区内史跡・文化財の現状調査を依頼し、実態をきめ細かく把握する。伝統工芸技術継承者育成支援事業参加者の作品展等のPR事業を検討する。</p>							

施策の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	荒川区の歴史や文化を伝える文化財、史跡、伝統的工芸技術を保存・継承していくことは重要であるため、引き続き推進する。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
荒川ふるさと文化館管理運営費	04-02-24	51,892	56,489	継続	継続	郷土の歴史や文化に親しみ、荒川の文化を伝承する施設を運営するために必要である。
荒川ふるさと文化館事業推進費	04-02-25	5,616	5,766	継続	継続	郷土の歴史や、文化に親しむ講座・展示等を提供する事業として、必要である。
奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会	04-02-26	476	649	継続	推進	俳句という伝統文化を通じて、子どもたちの国語能力の向上を図るとともに、奥の細道旅立ちの地を区内外に発信する。
文化財保護奨励費	04-02-27	11,767	9,034	推進	推進	区の有形・無形文化財を次代に伝えるとともに、区の文化資源として活用するため、必要性が高い。
文化財交流事業	04-02-28	0	0	継続	継続	奥の細道サミットに関連する句碑等、荒川区と交流都市の史跡・文化財をパネルで紹介し、交流都市との文化交流を深める。
江戸伝統技術	04-02-29	31,185	28,881	推進	推進	区の伝統工芸技術についての関心を高め、保存への理解を促すため、必要性が高い。
合 計		100,936	100,819			